

これからの山都の教育環境について

Q1 都市部の学校と比較した山都の教育環境の強みと弱み

強み

自然が豊かなこと、少人数であることを活かして、一人ひとりに目が行き届くことをあげた回答が多かった。

【自然が豊か】

- 自然環境の良さ。体験活動がやりやすい。
- 自然や郷土の文化など体験学習や豊かな教材が多くあること。
- 自然に関連したSDGsの学習にも取り組みやすい

【少人数でのきめ細やかな指導】

- 個に応じた指導ができる。
- 徹底した知識・技能が習得できる可能性が高い。
- 一人一人が伸び伸びして、悩みなどにより添えていると思う。

【地域との関り】

- 郷土の伝統や自然に直接関わる体験や活動ができ、ふるさとを大切に思う心を育める。
- 保護者との連携 生徒と地域の関わりが深い。

弱み

少人数のため人間関係が固定される、また多様な人間と関わる機会が少ないこと、それに伴い競争心が育ちににくいなどの指摘が見られた。

【人間関係の固定化】

- 固定された人間関係になりやすく、一度悩みをもった生徒はそれを解消するのに苦労する。
- 人間関係が固定化しており、コミュニケーション能力が低い子がいる。
- 生徒のみでなく教師においても固定化

【交流機会の少なさ】

- 色々な友達と触れ合うコミュニケーション力等に厳しい面がある（高一ギャップ）。
- 自宅から遠く、放課後の交流の時間が少なくなりがち

【競争心、向上心が育たない】

- 競争が少なく、向上心を持ちにくい。
- 都市部の中学生の状況を知らないと感じることがあり、学習することへの意欲が低い。

【IT環境、情報格差】

- 社会を取り巻く様々な情報を取得する環境が整っていないところ。
- タブレットは各自持っているが、ネット環境が充実していない。

Q2 山都の子どもたちの将来のために、是非身につけさせたい能力

コミュニケーション能力や表現力など新学習指導要領の求める内容に関する記述が多く見られた。

コミュニケーション能力

- コミュニケーション能力
- 自分の思い、意思等を伝える力

主体性・自主性

- 自主性・自立性
- 自分の考えを持って行動できる力

生きる力・課題解決力

- これからの予測不可能な社会で生き抜く力
- 問題の解決や改善に向けてねばり強く挑戦する力

創造力・表現力

- 大勢の前で表現する力。物怖じしない力
- 夢に向かって頑張り続ける力

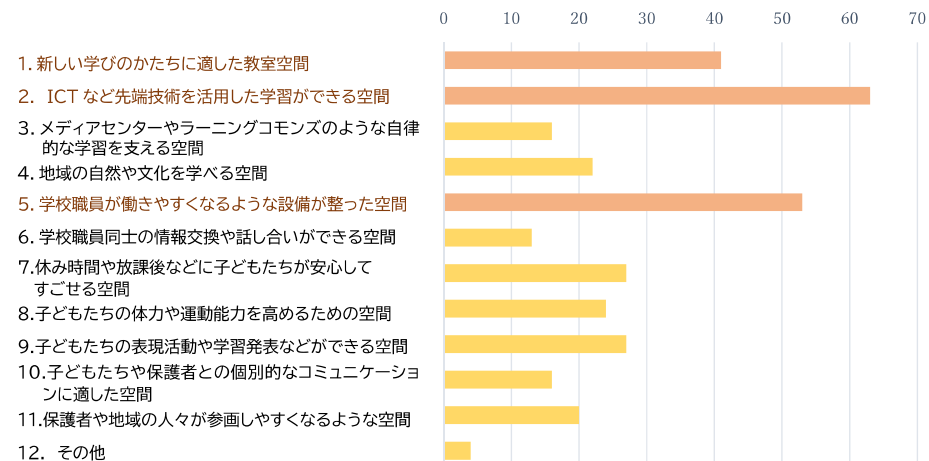
郷土愛・誇り

- 故郷を大切にする心
- 将来、ふるさとに根付き、町の活性化を担う誇りと実践力

これからの学校施設の作り方について

Q3 これからの学校施設において大事と思う空間

ICT など先端技術を活用した学習空間と、学校職員の働きやすい空間づくりへの期待が高い。



Q4 こうなったらよいというアイデア

4-1 児童・生徒がよく使う教室（自分の教室、理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科など）について ICT 機器の充実や電子黒板などの大型提示装置の充実の要望、教室を広くしてほしいという意見が多かった。

【全体的な意見】

- 普通教室以外の教室にエアコンを設置
- 電子黒板などが常に使えるような黒板や機器のレイアウトになればいい
- バリアフリーを念頭に置いた施設づくり（車椅子使用、障害のある子どもも介助してもらいながらでも行き来しやすい構造）
- 普通教室に隣接したワークスペース（廊下の壁の取り外しなど）
- 教室の広さを通常よりも広めに設定するか、廊下をオープンスペースにして広くする

【教室】

- 広いスペース、収納スペース、作業しやすい床（材質）
- 電子黒板がすべての位置から見やすいような教室
- 子ども達の作品を十分に掲示できるスペース
- 教室と廊下がフレックスに一つになったり、分けられたりするづくり

【音楽室】

- 楽器が練習できる場所（ピアノなど）

【理科室】

- 薬品等のセキュリティ確保

4-2 児童・生徒がみんなで使う施設等（図書室、保健室、給食室、体育館、プールなど）について 図書館を多様な活動に使えるようにするなど、多目的に使える空間に関する要望が多かった

【図書室】

- 図書をゆっくり展示、整理できるように広くし、多目的に使えるようにする。
- オープンスペースにして、学習や自習に使えるようにしてほしい
- 地域も活用できるようなスペース、蔵書が必要

【保健室】

- 感染症対策室、消毒薬などの収納スペース
- 体育館や職員室と近いところに配置してほしい。
- 十分な広さ、シャワー、トイレ、洗濯機、乾燥機がほしい
- 保健室と職員室は同じ階に 緊急時に

【体育館、プール】

- 空調設備
- 外側に全天候型のランニングコースなどがあれば体力作りに使える。

【給食室】

- 調理場から給食を取りに来る子どもの顔が見え、声が聞こえたほうがよい。

【その他】

- オープンテラス（多目的 食堂） ●多目的に使えるスペース

4-3 その他の共有スペース（トイレ、廊下、階段、水飲み場、校庭など）について トイレの洋式化をもとめる回答が非常に多かった。また、段差の解消の解消についての意見もあった。

【建物全体】

- バリアフリーで段差をなくす。エレベーター設置
- カーペットは敷かないで、掃除がしやすい木造にしてほしい。
- シンプルなものに。生徒指導上見通しがいいづくりがよい
- 抗菌仕様
- 子どもだけでなく、教員も皆が交流できる憩いの場を設ける

【トイレ】

- 洋式がよい。車椅子利用者も使える多目的トイレ
- 男子トイレにも個室を多くする
- 「みんなのトイレ」を広く、数を十分に。
- バリアフリー化

【廊下、階段】

- 木製が良い（結露防止）
- 廊下の屋根を広げて雪や雨が入りにくいづくり
- ゆるやかな階段とエレベーター
- バリアフリー化

【校庭など】

- みんなで使え、楽しめる施設づくり（インクルーシブ遊具）
- 上靴のまま遊べる屋外スペース（気軽に運動量の確保ができる）
- 大きなスペースをとって、自然のものを育てられると良い

【水飲み場】

- 蛇口の数を多めに。
- 水道の蛇口はひねらなくていいものに。
- 冷たくない水のでる水道

4-4 教職員やその他の学校職員のためのスペース(校長室、職員室、印刷室、教科準備室、更衣室など)について 職員室の広さや環境、教科準備室の収納やスペース、更衣室のロッカー等に関する要望が多かった

【校長室、職員室】

- 校長室は応接室を兼ねられる程度に広く。
- 机の配置に合わせて床にコンセントを多く設置し、無線 LAN (Wi-Fi) 等もあると助かる。
- できるだけ広く、収納しやすいものに。
- デスク以外に集まって立ち話できるようなスペース
- 出入口が多すぎると使いにくい（壁面が必要）

【印刷室】

- 職員室から離れない方がよい。
- 機械の動線と人の出入りを考えて広めにする。

【教科準備室】

- 充分なスペースの確保（収納）。
- 準備室や資料などを保管できるスペースが各部屋にほしい
- 主な教材・教具が置ける部屋（施錠可能）、収納棚やスペースがほしい

【更衣室】

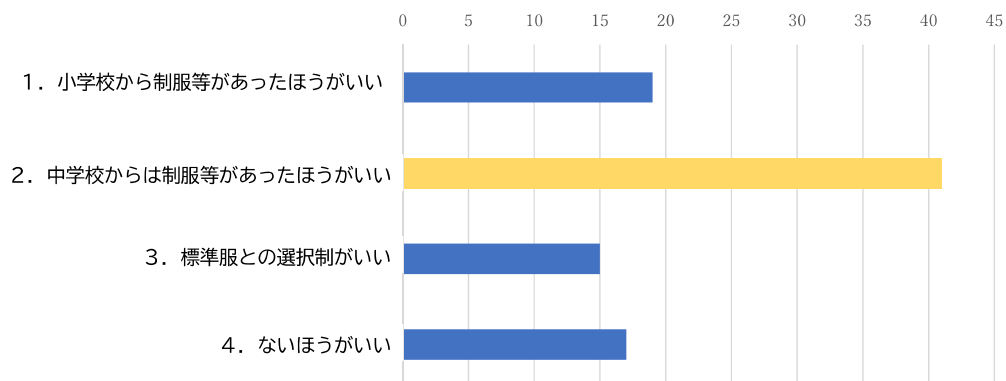
- 人数に十分余裕のある広さで、ロッカーは大きめがいい。
- 複数人数で一度に着替えられるような広さ

【休憩室】

- 職員が体調不良の時など横になれるスペースがあると良い
- 法に従って設置

Q5 学校の制服等について

中学生からの制服導入の意見が多く、理由としては差が出ないことや、服選びに気を配る必要がないことなどの他、制服に関しても多様性を求める意見があった。



1. 小学校から制服等があったほうがいい

【理由】

- 制服等は出費がかさむ、経済格差解消のため
- 小学生の間は成長期なので何度も制服を買わないといけなくなる。
- 制服だとプライベートとのメリハリがつく
- 格差が出ないように
- 小学生のうちから校則やルールを身につける

2. 中学校からは制服等があったほうがいい

【理由】

- 保護者の経済的負担軽減
- 社会に出る前の勉強としてルールや規律を守ることなど身につけて欲しい。
- 高校がまだ制服が多いので制服を着る習慣づけのため
- 私服だと、何を着るか迷ったり悩んだりする時間がでてるので

3. 標準服との選択制がいい

【理由】

- 標準服は安価で手に入りやすく、質素で、式典にも対応可能。オールマイティ。
- LGBTQ への配慮で自由度を広げるため
- 高校のように選択制をもたせ、考え方の多様化に合わせてられるようにしたほうがよいと思う

4. ないほうがいい

【理由】

- 保護者の負担を減らすため
- 制服等があると洗濯が頻回にできず衛生上問題がある。
- 山都町の冬の気候に対応するには、制服では難しい。

- 保護者からの意見が尊重された方がいい。選択性が望ましいような気がする。
- 地域の特性に応じて話し合うべき

学校での労働環境について

Q6 施設の改善によって労働時間短縮に役立つと思われること

ICT環境の充実を上げるものが多かった。校務支援ソフトの導入を求める意見も複数あった。

【ICT環境の充実】

- 各学校で作成した教材などが共有できるICTの設備
- デジタル教材や電子黒板があると便利
- ICTを使った教務システム（施設の改善だけでは困難）
- ICT機器等の充実、サポーターの拡充
- ICT支援員の活用を増やす
- 教職員用タブレットの個人貸与
- 校内のネットワークをつなぎ、授業準備が職員室にいてもできるようにしてほしい

【校務支援ソフトの導入】

- 手書き文書をなくす 校務システム導入
- 校務支援システム（早急に）
- 自宅でもアクセスできるような校務システムの導入（先進校を参考に）

【職員・支援員を増やす】

- 職員を増やし、役割分担をする。
- ゆとりある教員配置

Q7 施設の改善によって職員の健康面で役立つと思われること

地域の気候環境に合わせた冷暖房設備、休憩室・更衣室などの環境改善への意見が多い。

【室内環境】

- 冬場の冷え対策、空調システム（集中冷暖房システム）
- 換気システム
- 仕事がしやすい机と椅子
- エレベーターの設置

【休憩室】

- 休憩室の設置、充実
- 仮眠スペースの設置
- ゆっくり座れ、ちょっと話したり飲食したりできる休憩場所

【更衣室、トイレ等】

- シャワー室がある更衣室
- 保健室に大人対応の設備等も備えてほしい
- 職員トイレ数の充実を（女性用が人数の割に少ない）

Q8 その他施設の改善によって労働環境の課題に効果があると思われること

- プールの塩素濃度などをはじめ、オートメーション化。自動的にできるものはそういう方向でお願いしたい。
- 校内インターネット環境の完全LTE化
- 駐車場の場所
- 体育倉庫の棚や空間の工夫。テントを効率よく出し入れできる場の設置（縦置き）

義務教育学校開校までの取組みについてお尋ねします。

Q9 開校までの期間中に、重点的に検討すべきこと

教育課程の編成や校務についてと、地域との連携をあげるものが多かった。

【教育課程】

- 義務教育学校の経営案と諸計画（教育課程）の見直しと改善（統一）
- 教育課程、日課、行事（年間、月）
- 教育方針
- 教育課程：先進校の事例を収集し、枠組や教科など中身をしっかりと作る必要
- 2学期制の導入

【校務について】

- 校務分掌（小中一貫、授業、主任等）
- 各種データ管理（公簿、成績、個人情報）
- 小中共有物、専門物の仕分け
- 引き継ぐべき書類の管理方法
- 各種会議計画

【地域との連携】

- 地域との連携 教育観の共有

【通学手段について】

- バスの時刻、運行について